休日保育「親も子もヘトヘト」

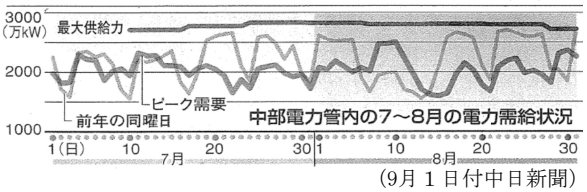
土日操業は今年限りに

梅坪こども園で要望を聞く（左から）高橋衆院議員、八田元参院議員、もとむら県常任委員

日本共産党

高橋ちづ子衆院議員、もとむら伸子党愛知県常任委員らは、8月21日、休日保育について豊田市と名古屋市の保育園を視察しました。豊田市立園の園長は「保育士のシフト、子どもの特徴や状況の伝達だけで大変です。親も子も疲れてきたという印象です」と語りました。市こども部の担当者は、「3カ月という期間限定で頑張っていただいています。10月以降は電力需給に手を打っていただき、今年限りとしてほしい」と要望しました。

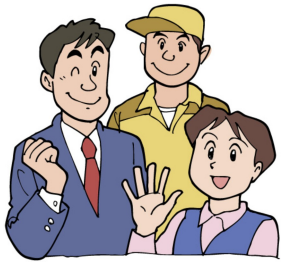
浜岡原発停止でも電力は安定



（9月１日付中日新聞）

日本共産党の高橋ちづ子衆院議員は8月23日、国会で日本自動車工業会が節電と称して休日出勤を決めたために対応に混乱している保育所の問題をとりあげ、是正を求めました。

高橋議員「基本は（休日出勤を）避けるべき」



厚労副相「おっしゃる通り」

高橋議員が「基本は（休日出勤を）避けるべきだ」と指摘すると、小宮山洋子厚労副大臣（当時）は「おっしゃる通り」「労働条件の変更は労働基準法の手続きをへる必要がある」と答えました。

高橋議員「通常の休日保育も補助引き上げを」

厚労副相 国の交付金の活用は可能

節電対策の休日保育に対する国庫補助は２分の１ですが、通常の休日保育への補助は３分の１のまま。高橋氏は豊田市が無料にしたのを例にあげ、「通常の休日保育の補助も２分の１に引き上げ、保護者負担を軽減すべきだ」と提起。小宮山副大臣は国の交付金の活用は可能との認識を示しました。

●真実がわかる 明日が見える―「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。（日刊紙3400円/日曜版800円）

国政事務所ニュース　2011年 9月号外

発行：日本共産党国会議員団愛知事務所
〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-27　電話052-261-3461
日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。